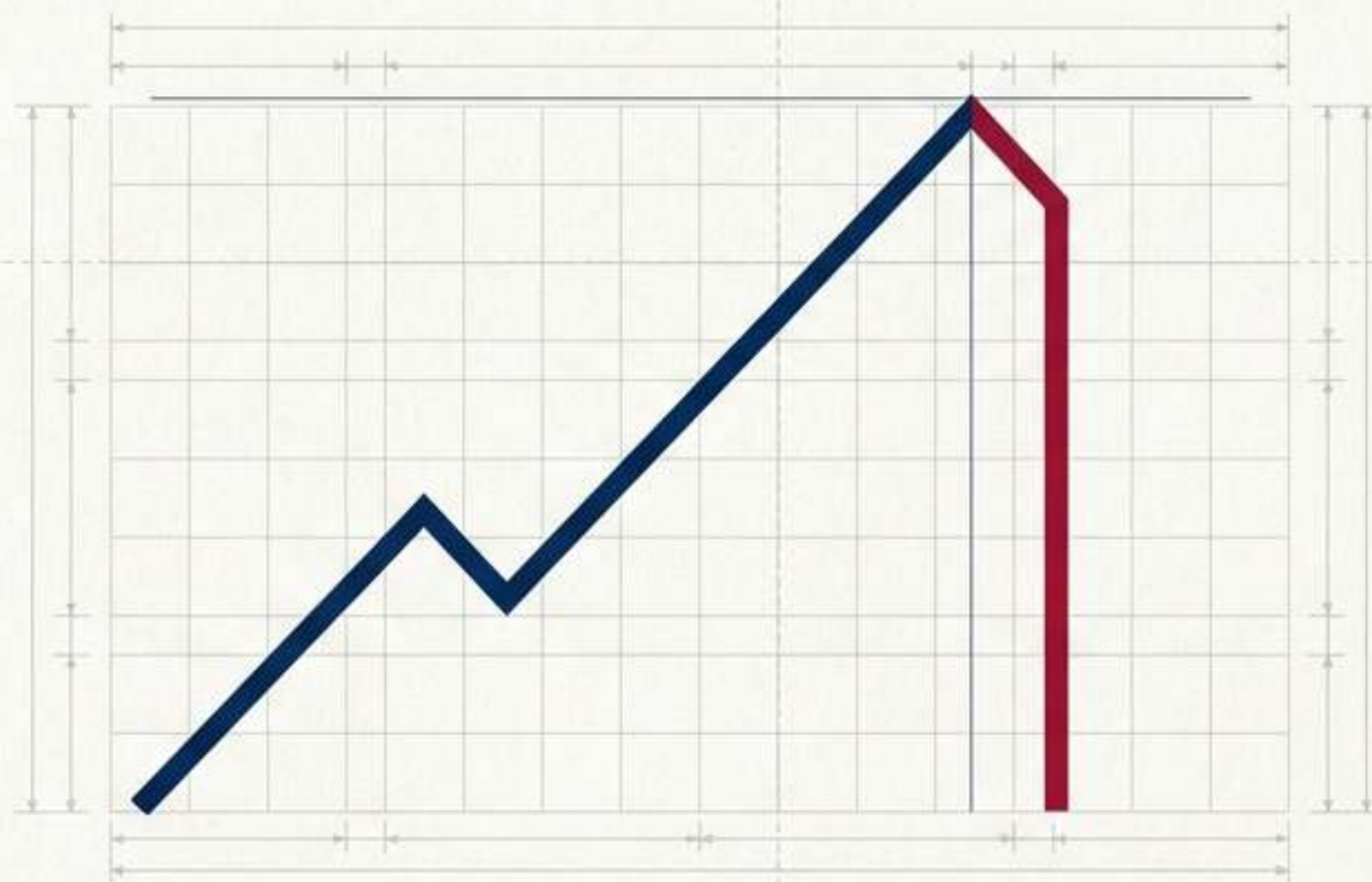


4月末、歴史的転換点への完全ロードマップ

ドル円・ユーロ円・日経平均の「究極の売り場」と戦術的出口戦略



TACTICAL BLUEPRINT / MACRO STRATEGY



【TARGET】 歴史的限界点

ドル円：162.7円

ユーロ円：188.0円

日経平均：61,000円



【SCHEDULE】 Xデーへの3段跳び

- Step 1:
CPIから始まる株・ユーロの先行
- Step 2:
ドル円の最後の踏み上げ
- Step 3:
4/27-28 日銀会合で全アセット同時反転



【STRATEGY】 厳格なリスク管理と出口

セットアップ完了を待つ
「引きつけ」

高値切り下げ確認後の
「根拠あるストップ」



Key Insight: 現在は「金利」よりも「エネルギー（原油）」が相場の主導権を握っている。

2024年 政府・日銀防衛線 (161.7円)

ドル円の強大なアンカー (磁力)

消去法的なドル買い

中東の地政学リスクにより、「世界で最も強い通貨＝ドル」への需要が継続。

ユーロ円の円売りエネルギー

ユーロ円が188円を目指す強大な推進力が、ドル円の下落を阻む。

結論: ユーロ円が188円のピークを打つまでは、地政学とエネルギーによるドル需要が強すぎ、ドル円の本格的な下落は阻まれる。

The Ultimate Targets: 3つの究極ターゲット



ドル円 162.7円

完全な売り場の最終ターゲット
2024年高値を超えたオーバーシュート地点



ユーロ円 188.0円

長期逆転劇のスタート地点
エネルギー危機に伴う歴史的上限



日経平均 61,000円

熱狂のクライマックス
「円安=株高」の最終限界値

戦略の前提: これら3つが「同時達成」された瞬間こそが、最も期待値の高い勝負どころとなる。

The Tipping Point: 臨境界点



切断後のメカニズム

ファンダメンタルズの逆転

輸出メリット崩壊

輸入コスト解消

両極の力が同時に中心へ崩壊

- 通常の「円安＝株高」の相関が崩壊する瞬間。
- 「円安の巻き戻し (円高)」と「株価の利益確定 (下落)」が同じエネルギーで同時に発生し、同時急落を引き起こす。

The Multi-Track Timeline: 3つの波とXデーの同期

4月中旬

4月20日週

4/27-28

4月末

ユーロ/株フェーズ

CPIを契機にユーロ円188円へ。日経も追随

ドルフェーズ

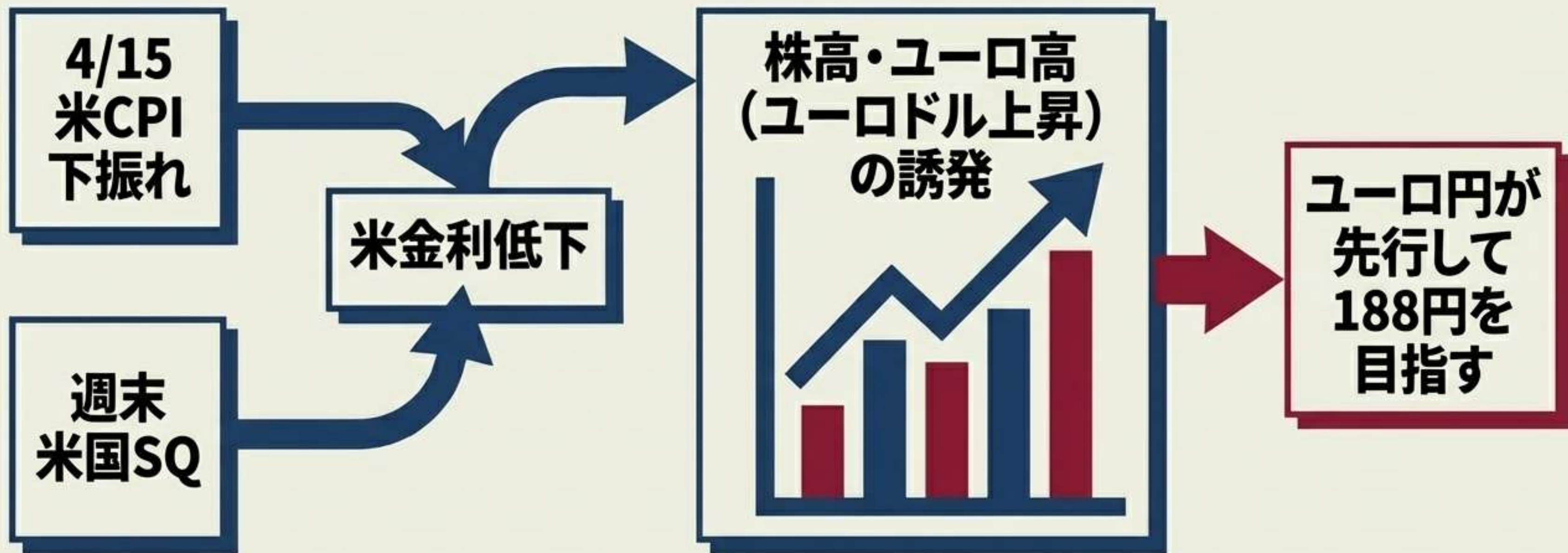
遅れてドル円が162.7円へラストスパート

大逆転フェーズ

Xデー: 全アセットの波が同期して一気に急落

Insight: アセットごとにピークのタイミングはズれる。ドル円が遅れても焦らないこと。

Phase 1：最後のトラップ（～4月20日週前半）



【WARNING】 CPIでの上昇は、絶好の売り場を作るための最後の罠。
ここでドル円が置いていかれても、決して焦って売買しないこと。

Phase 2: 「最後の踏み上げ」と全ターゲット同期

～4月24日頃 / ウォーシュ氏承認プロセス進行



- **高値更新の罠:**
欧州時間の高値で「天井」と決めつけない。相場は一度その壁を超え、全員を強気にさせてから反転する。
- **日銀会合前の思惑:**
投機的な円売りが加速し、遅れていたドル円が162.7円へラストスパート。
- **ターゲットの同期:**
ここで日経・ユーロ円・ドル円のすべての波形が一点に収束する。

Phase 3: Xデーと「大逆転劇」(4月27日～月末)

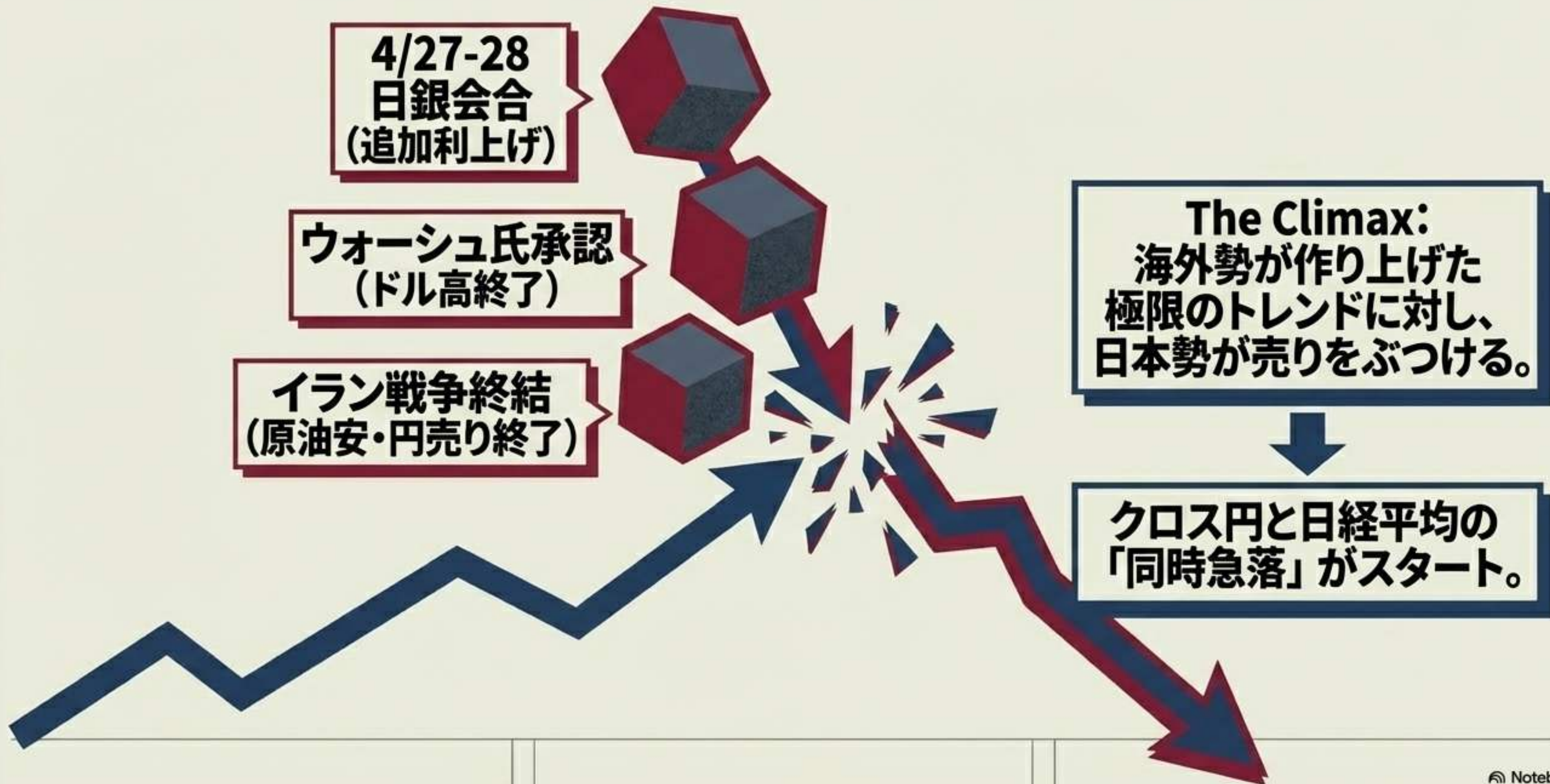
4/27-28
日銀会合
(追加利上げ)

ウォーシュ氏承認
(ドル高終了)

イラン戦争終結
(原油安・円売り終了)

The Climax:
海外勢が作り上げた
極限のトレンドに対し、
日本勢が売りをぶつける。

クロス円と日経平均の
「同時急落」がスタート。



Tactical Playbook: 出口戦略マトリックス

Phase A: エントリー (Entry)

「引きつけて売る」

- 全力勝負厳禁
- 分割エントリーの徹底
- 両建てでのリスク固定

Phase B: 防御 (Defense)

「崩れたらストップ」

- ヒゲでの狩られを回避
- 高値切り下げを確認
- 根拠のあるストップ配置

Phase C: イグジット (Exit)

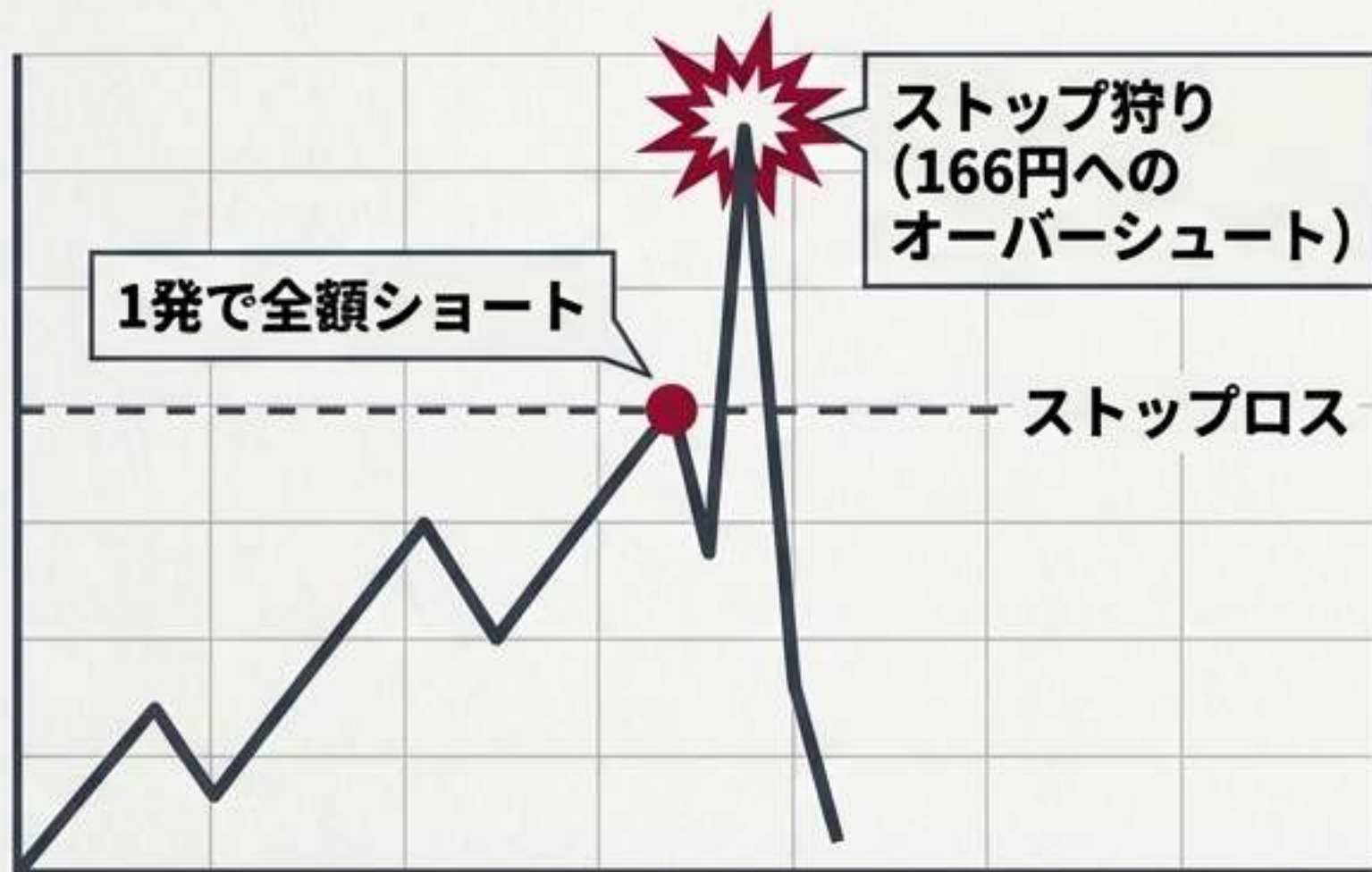
「節目で利食い、
崩れたら追う」

- 欲張らず半分利確
- 防衛線割れで追撃開始

**Core Rule: もし1円突き抜けても死なないポジション量で挑むこと。
感情を排除し、機械的に実行する。**

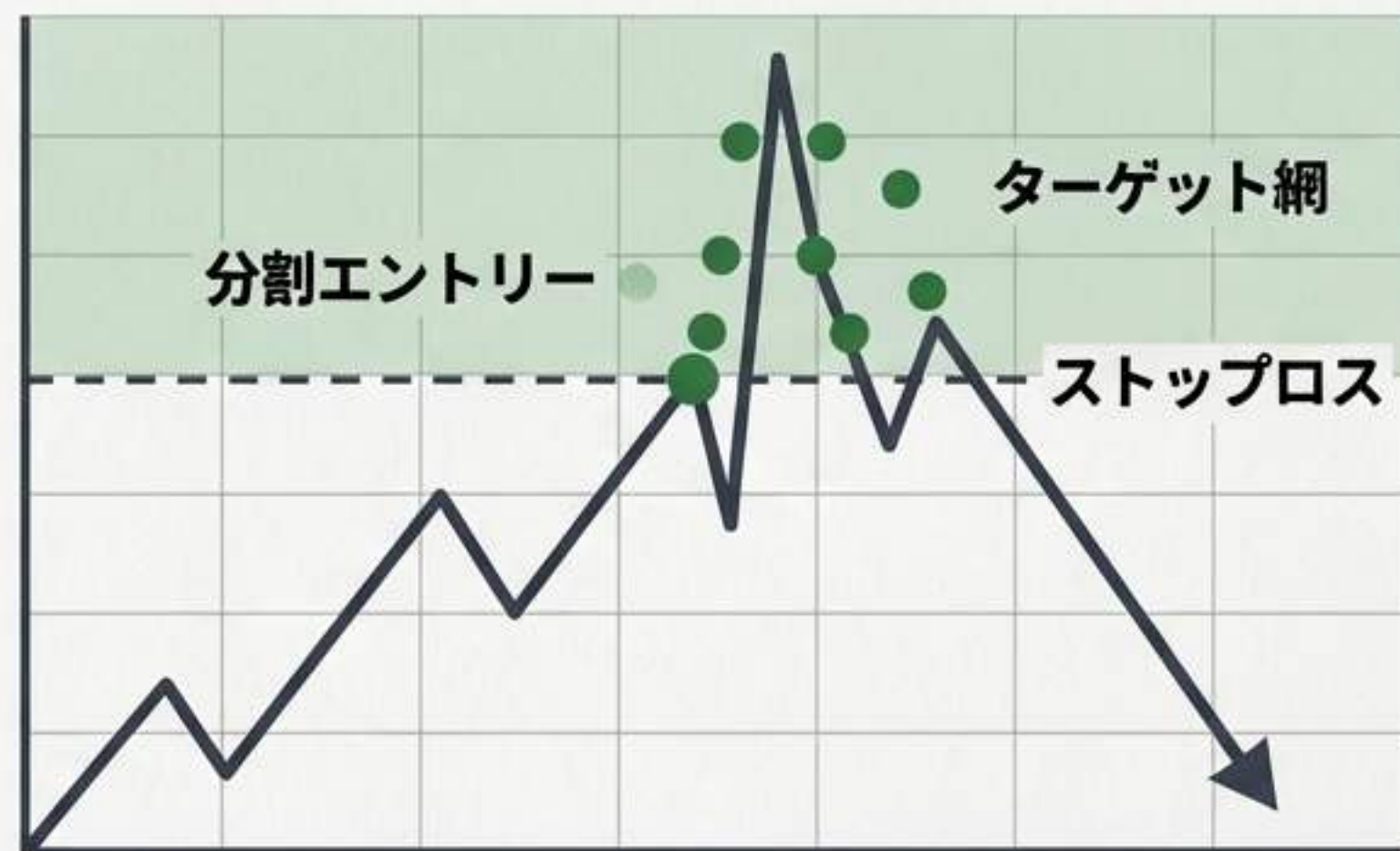
エントリー戦術：高値更新を「待つ」

BAD：早売りして狩られる



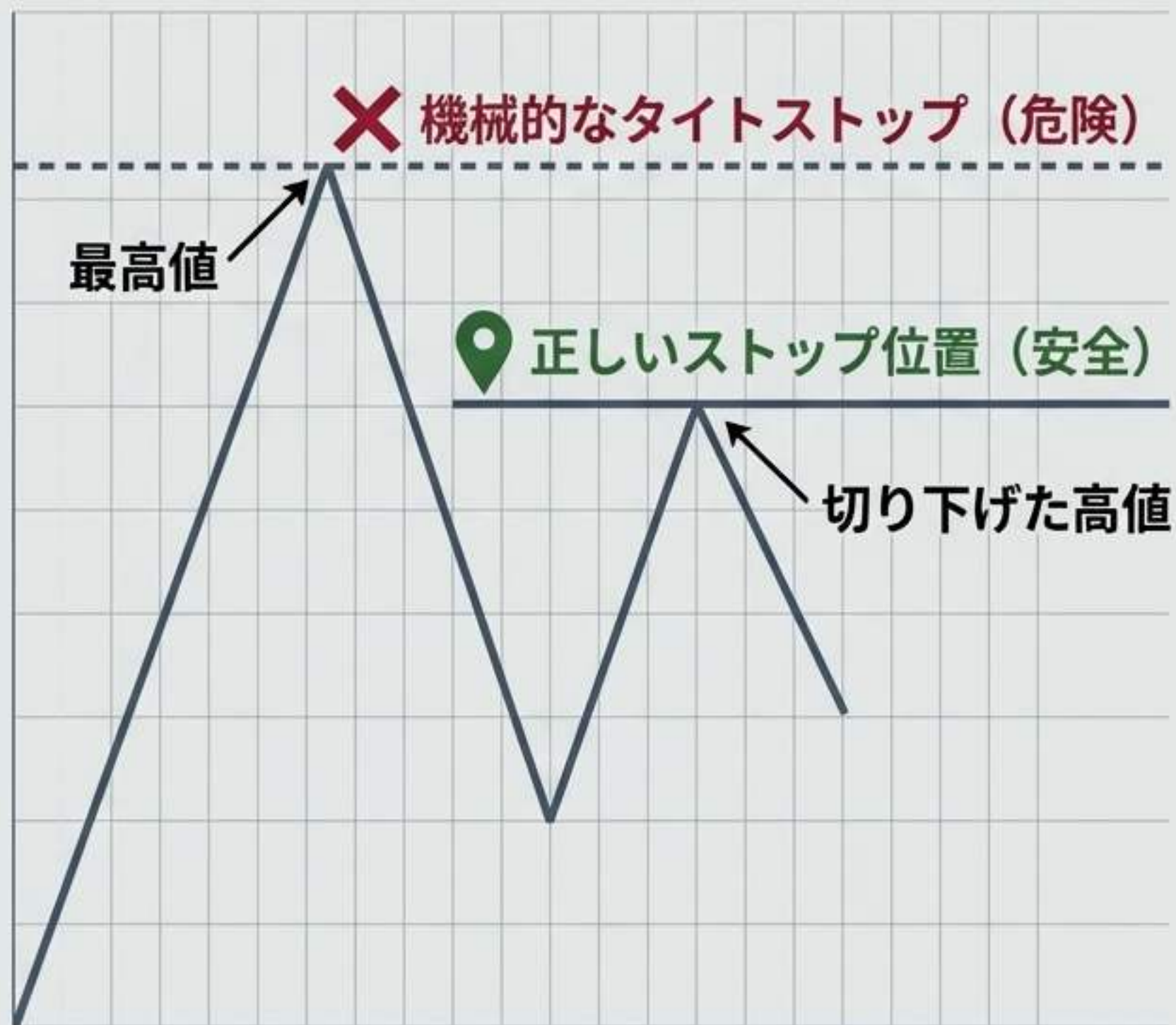
焦りから最初の高値で全力投入。
オーバーシュートのヒゲで焼かれる。

GOOD：引きつけと分割



166円までの逆行を「想定内」とするサイズ管理。
ヒゲを耐え抜き、本命の反転を捉える。

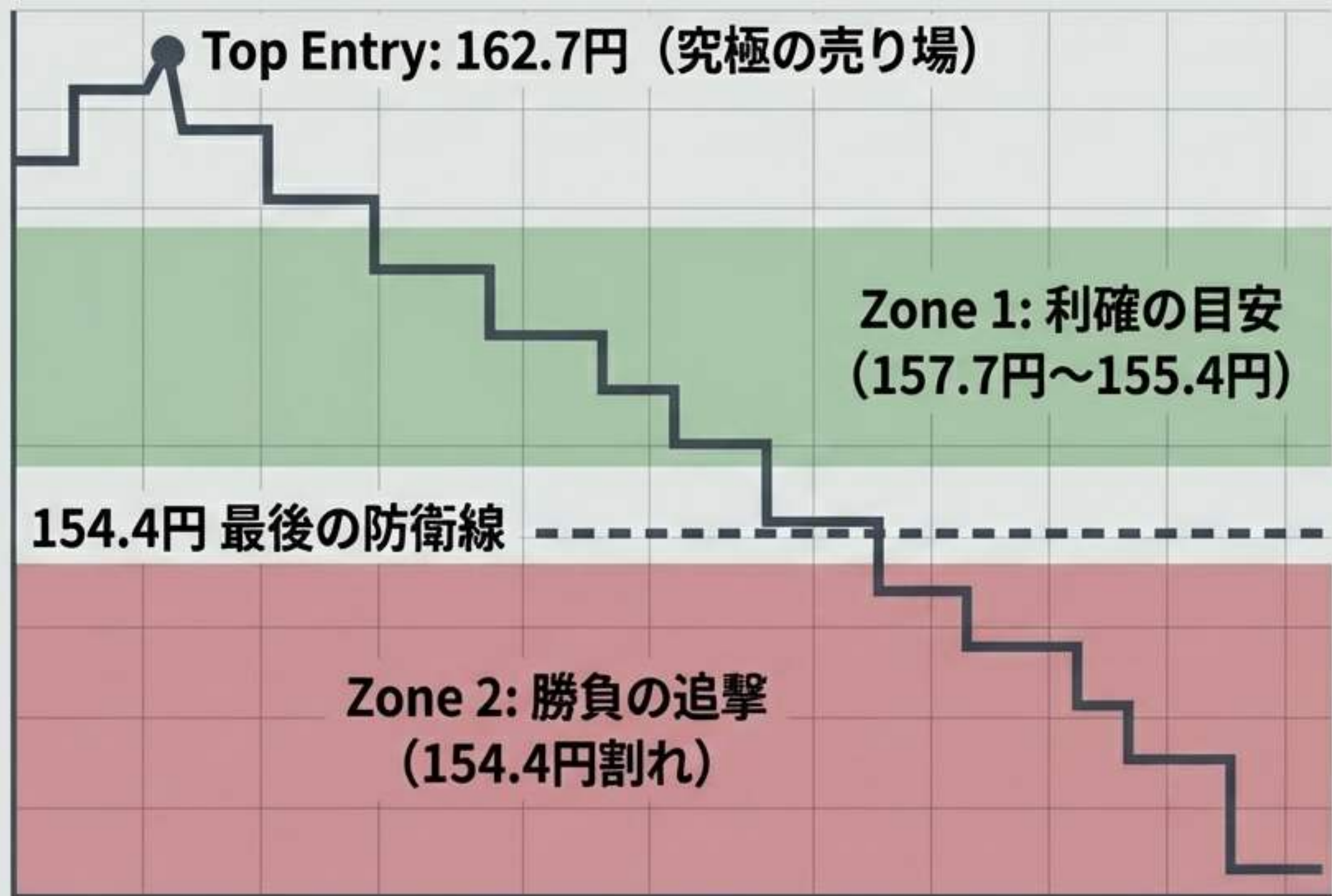
防御戦術：「根拠のあるストップ」の置き方



【守りの3カ条】

1. 待つ：一発目の突っ込みで売らない。ヒゲ1本で1~2円突き抜ける乱高下をやり過ごす。
2. 確認：一度高値をつけて下がり、次に上がった時に「前の高値を越えられなかった（切り下げた）」のを確認する。
3. 配置：その「切り下げた高値」の上にストップを置く。これが最も安全で根拠のある防御線となる。

利益確定と追撃戦術（エグジット）



アクション: ここで利益をしっかりと確保。欲張らずに「半分利確」でリスクを抜く。

アクション: 相場の景色が完全に変わる領域。ここからが本当の「追撃売り」の出番。

結論 & アクションプラン



今週の監視

CPI下振れによる「株とユーロの先行」を冷静に注視する。ドル円の遅れに焦らない。



メンタル管理

「高値更新」に驚かない。むしろ本命のピークを形成するための「最後の踏み上げ」として歓迎する。



資金管理

166円までのオーバーシュートを耐えられる極小ポジションサイズを設定する。



最終トリガー

全ての材料（日銀・ウォーシュ・地政学）が収束する「月末」まで牙を研ぎ、セットでの空売り（株&クロス円）を狙う。

The ultimate edge lies in waiting for the alignment.
(究極の優位性は、全てが整うのを待つことにある)